

Future

SOLAN初の行事 ~強歩会~

11/11（金）に強歩会を行いました。強歩会は「逞しい児童の育成と被災時に自力で帰る自信をつけるため」という目的のもと、今年度初めての実施となりました。

全学年がいくつかのグループに分かれ、尾張旭市内の城山公園までの約7kmほどの距離を歩きました。信号等で止まっている間にバラバラになるため、4年生は3つのグループに分かれ、荒谷の担当していた先頭グループには、4年生6人と2年生4人も特別に加わり、スタートしました。最初はワクワク・ドキドキ、おしゃべりしながら歩いて行き、あっという間に中間地点である瀬戸市内の「平町公園」まで到着しました。平町公園ではトイレ休憩だけを取り、再度出発したのですが、歩いて行くと徐々に上がってきた気温と横を通る車と信号の多さからの緊張感で、だんだんと子どもたちの口数も減り、疲れも出てきてからは「何後何キロ？」と聞かれる回数も増えていきました。11時頃には、先頭の4年生のA/Bの2グループが城山公園に到着しました。到着後、他のグループを待っている間はスナックを食べたり、遊具で遊んだりしました。11:15頃には4年生のCグループも到着し、4年生みんなで展望台に上りました。なかなかみられない景色に子どもたちも疲れを忘れて大騒ぎでした。

展望台から降りて昼食を食べ、その後は持参した大縄で縄跳びをしたり、鬼ごっこをしたり、枯れ葉で遊んだり、普段なかなか過ごせないほどゆっくりとした時間を過ごしました。最近、校内ではドッジボールや鬼ごっこで遊ぶことが多かったのですが、大縄をみんなで跳んだこともいい思い出になりました。

帰り道は尾張旭駅まで歩き、4年生全員が自分で切符を買って電車に乗って尾張瀬戸駅まで戻りました。子ども料金にするためにボタンを押すことや、子ども料金自体の見方を知らない子たちもおり、非常にいい経験になったと思います。尾張瀬戸駅から学校までの道のりは、7kmを歩いた子どもたちにはあっという間に感じそうでしたが、道泉小学校に入る最後の急な坂には悲鳴をあげていました。怪我や体調を崩す子も出ず、とてもいい経験になったと思います。

避難訓練 ~不審者の侵入を想定~

11/10（木）に、不審者の侵入を想定した避難訓練を行いました。訓練実施前には、スライドを使って事前学習を行いました。私からは2001年の大阪教育大学附属池田小学校で起きた事件や当時を知る先生と話した時のことも少し紹介し、なぜこの訓練が必要か、いかに大切なものかを話しました。

訓練では、不審者役の先生が実際に教室まで上がってきたことを想定し、子どもたちは窓際に離れ、わたしたち教員が教室に入れないようにブックトラックや椅子、また自分達自身が立ちはだかる形で進めました。私たちがかなり緊張感を高め、子どもたちを守る形となったため、子どもたちはあまり恐怖心を感じた様子ではありませんでしたが、子どもたちからは「わたしたちが怖さを感じづらかったのは、先生たちが守ってくれたからこそその証拠」という振り返りもありました。数行ですが、お子様の振り返りはまなポートのアクティビティ機能に入力していますので、よろしければお読みください。